

授業科目名 (英文名)	システム管理 (社会情報・専門科目) (System Administration)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	3年次・後期
担当教員	西出 哲人 原口 亮 田中 俊昭	所属	情報科学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的 情報通信システムは、組織内で適切な管理が行われなければ、不調和を招き、潜在的な能力を発揮できない。そこで、この講義では、企業などの組織において、情報通信技術を効果的に受容するための管理方法を学ぶ。具体的には、組織が情報通信技術を受容するための方法を、セキュリティマネジメントとサービスマネジメントの観点から検討する。</p> <p>到達目標 情報システムの管理方法と組織が直面している課題を理解し、情報通信技術のライフサイクルを循環させる運用力を養うことが到達目標である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>I 講義内容 まず、情報通信システムのマネジメントについて概観する。そして、セキュリティマネジメントとサービスマネジメントの観点から、組織が直面している課題と対策について検討する。</p> <p>II 授業計画 学習効率を考え、順序は入れ替わることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．イントロダクション 2．サービスバリューチェーン 3．情報通信システムマネジメント 1 4．情報通信システムマネジメント 2 5．情報セキュリティマネジメント概論 6．情報セキュリティ管理 1 7．情報セキュリティ管理 2 8．情報セキュリティ対策 1 9．情報セキュリティ対策 2 10．情報セキュリティの実践 1 11．情報セキュリティの実践 2 12．情報セキュリティの実践 3 13．サービスマネジメント 1 14．サービスマネジメント 2 15．全体のまとめ 		
テキスト	授業の際に、担当教員から別途通知する。		
参考文献	AXELOS(2019) “ ITIL foundation ITIL 4 Edition” TSO、 中尾 康二, 山下 真, 山崎 哲, 日本情報経済社会推進協会(2014)「ISO/IEC 27001:2013(JIS Q 27001:2014)情報セキュリティマネジメントシステム要求事項の解説 (Management System ISO SERIES)」日本規格協会、 中尾 康二,北原 幸彦, 竹田 栄作, 中野 初美他(2015)「 ISO/IEC 27002:2013(JIS Q 27002:2014)情報セキュリティ管理策の実践のための規範 解説と活用ガイド (Management System ISO SERIES)」日本規格協会、 その他のものについては、トピックに応じて授業中に紹介する。		
成績評価の基準・方法	情報システムの管理および情報セキュリティマネジメントの諸概念を理解し、活用ができる者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力(知識・技能、判断力等)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。課題・小テスト(60%)と定期試験(40%)を基準として、受講態度(積極的な質問等)を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、		

	新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。
実践的教育	該当しない。
備考	